

平成28年10月31日

各位

会社名 三菱電機株式会社  
代表者名 執行役社長 柵山 正樹  
(コード番号 6503 東証第一部)  
問合せ先 広報部長 船尾 英司  
(TEL 03-3218-2332)

## 平成29年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異 および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年7月28日に公表した平成29年3月期第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、同日公表した平成29年3月期通期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)連結業績予想値を修正しましたので、お知らせいたします。

記

平成29年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想値と実績値との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)  
(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前 四半期純利益	当社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,960,000	90,000	100,000	70,000	32円61銭
実績値(B)	1,972,354	121,747	123,726	88,342	41円16銭
増減額(B-A)	12,354	31,747	23,726	18,342	
増減率(%)	0.6%	35.3%	23.7%	26.2%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	2,063,285	127,014	133,058	92,925	43円29銭

<差異の生じた理由>

第2四半期累計期間の連結業績は、売上高は、産業メカトロニクス部門で欧州・北米の自動車機器事業が堅調に推移したほか、重電システム部門で大口案件の繰り上がりなどもあり、前回予想値を上回りました。利益は、家庭電器部門での海外向け空調機器の採算改善や、重電システム部門及び産業メカトロニクス部門での売上増加に加え、情報通信システム部門などでの経営改善諸施策の成果もあり、全てのセグメントで前回予想値を上回りました。

平成29年3月期通期 連結業績予想値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	4,180,000	235,000	255,000	175,000	81円52銭
今回発表予想(B)	4,150,000	250,000	265,000	185,000	86円19銭
増減額(B-A)	△30,000	15,000	10,000	10,000	
増減率(%)	△0.7%	6.4%	3.9%	5.7%	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	4,394,353	301,172	318,476	228,494	106円43銭

<修正の理由>

通期の連結業績見通しは、第3四半期以降の為替条件を円高へ見直したことなどにより、売上高は減少が見込まれますが、利益は、為替条件見直しの影響はあるものの、家庭電器部門及び情報通信システム部門を中心に前回予想値を上回ることが見込まれるため、平成28年7月28日に公表した業績予想値を修正いたします。

以上

※上記の業績見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご案内いたします。